

12月所感

師走（しわす）でも走らない

狭山市立教育センター

所長 鈴木 浩明

カレンダーも最後の1枚となり、平成28年を締めくくる月となりました。みなさんは、今年の1月に新年の目標をたてたと思いますが、その目標は達成できそうですか。学習のことや部活動等のことで目標をたてた人、中には1年間で何冊本を読むという目標を立てた人もいるかもしれません。この一年を振り返るにはまだ少し早い気もしますが、そうこうしているうちにあっという間に来年になってしまいますので、この辺で振り返って考えてみませんか。

12月を師走といいます。「師」とは誰のこと？「走る」とは？？どうして12月は師走と言われるようになったのでしょうか。最も広く知られている話を紹介したいと思います。

師（僧・先生）が走るがあります

僧とはお寺のお坊さんのことで、日本には昔から年末になるとお坊さんに自宅まで来てもらい、お経を唱えてもらう風習がありました。そのため、年末が近付くとあちこちから依頼がくるお坊さんは、東西を行ったり来たりと大忙しになります。その様子を見て「師が馳せる」から師走になったという説です。

他にも、師とは、先生のことで、学校の先生も忙しく走り回る月という話もあるようです。

やはり、1年のしめくくりの月であり、忙しい月というイメージが昔からあるのでしょう。

さて、みなさんは、今年1年間を振り返ってみてどうでしたか。先延ばしにしてしまったことはありませんか。もし、まだなかなか手につかないことがあったとしたら、まずはとにかく「第1歩」を踏み出してみることです。やり残すことなく、すっきりと新たな気持ちで、新年を迎えたいものですね。

いずれにしても、年末・年始を控え、学校や家庭でもその準備のために忙しい時期で、みなさんも大掃除や年賀状の作成、家のお手伝いなどの家の中での役割を果たしていることだと思います。このような時こそ、走り回ることなく落ち着いた師走を過ごせるように今から準備をしていきませんか。新年に新たな目標をたて、気持ちのよい幕開けとしてまいりましょう。